

コース番号 3M171

## 精密測定技術

製造業は現在、人手不足と品質要求の高度化が同時に進む転換期にあります。特に自動車・半導体分野では生産拡大が続き、現場にはこれまで以上に安定した寸法精度の確保が求められています。また DX や AI が導入されても、それらの判断基盤となるのは現場の正確な計測データであり、測定技術の習熟は依然として不可欠です。

本セミナーでは、ノギス・マイクロメータ・ハイトゲージ・ダイヤルゲージ・シリンダゲージといった基本測定工具の構造理解、誤差要因、測定基準の概念や現場力を支える“測定の本質”を体系的に習得します。

開催日時	4月27日(月)～28日(火) [2日間] 各日 9:00～16:00				
定員	10名	受講料	8,500円	開催場所	四国職業能力開発大学校
カリキュラム	<p><b>1. 測定の概要</b></p> <p>(1)測定と計測について</p> <p>イ. 計測と測定</p> <p>ロ. 測定におけるトレーサビリティ</p> <p>ハ. 測定と検査 測定データにおける不確かさについて</p> <p>ニ. 測定データにおける不確かさについて</p> <p>(2)測定の重要性</p> <p>イ. 検査と評価</p> <p><b>2. 測定誤差と測定環境の基礎知識</b></p> <p>(1)測定誤差の原因と対策</p> <p>イ. 測定環境</p> <p>ロ. 寸法測定の誤差要因</p> <p>ハ. 各要因に対する対策方法</p> <p>(2)測定器の精度と特性</p> <p>イ. 長さ基準とは</p> <p>ロ. 測定器の信頼性</p> <p>ハ. 測定器の選択</p> <p>(3)マイクロメータ、デジタルマイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ、てこ式ダイヤルゲージでの測定</p> <p>イ. 構造、取扱い、調整</p> <p>ロ. 量子化誤差、器差、アツベの原理など</p> <p>ハ. 熱的影響による誤差の測定、断熱効果のある測定器</p> <p>ニ. ブロックゲージの取扱い</p> <p><b>3. まとめ</b></p> <p>(1)質疑応答</p> <p>(2)講評・評価</p>				
持参品	筆記用具				



### 【お問い合わせ】

四国職業能力開発大学校

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町 3202 番地 TEL:0877-24-6298(援助計画課)

E-mail:shikoku-college03@jeed.go.jp